

平成20年6月27日

## 日本の優れた環境性能を持つ建築物の海外への事例紹介について —「Japan Sustainable Building Database」ウェブサイトの公開—

洞爺湖サミットの開催も近づき、省エネ法の改正等、省エネルギー、省CO2対策等において、建築・住宅分野の取り組みの必要性がクローズアップされている中、日本においては先進的で優れた環境性能を持つ建築物が多くつくられるようになってきています。

こうした優良事例について、海外における建築・住宅分野の環境問題への取り組みの促進に資するとともに我国の先進技術の海外への技術移転を図るため、海外向けに情報発信する英文ウェブサイトを公開することになりましたので報告します。

### 概要

本ホームページは、日本の優れた環境性能を持つ建築物についての情報が、なかなか入手できないという海外の建築関係者等の声に応えることをきっかけに、岩村和夫武蔵工業大学教授の指導のもと、国土交通省国土技術政策総合研究所、及び(財)建築環境・省エネルギー機構等が、紹介事例の建築主、設計者等の協力のもと作成したものです。

紹介している事例は、建築物総合環境性能評価システム(CASBEE)による評価を行った、住宅・建築物の新築又は改修事例13件で、今後も新規事例を追加し拡張していく予定です。

なお、このウェブサイトの開発は、平成18年1月の米国・中国・インドなどの環境大臣会合を契機に活動が始められた「クリーン開発と気候に関するアジア太平洋パートナーシップ(APP)」のプロジェクトの一つとして位置づけられ、今後、設けられることとなっている参加各国のサステナブル建築データベースを集めたポータルサイトに登録することとしています。

### ウェブサイトのURL

<http://www.ibec.or.jp/jsbd>

### (English)

Japanese National Institute for Land and Infrastructure Management (NILIM) and Institute for Building Environment and Energy Conservation (IBEC) have developed "Japan Sustainable Building Database", an English website which introduces Japanese excellent sustainable building/housing projects to the world for providing information of Japanese advanced technologies. It is launched with 13 projects assessed by CASBEE (Comprehensive Assessment System for Building Energy Efficiency), and is planned to be updated regularly with new projects. See <http://www.ibec.or.jp/jsbd>.

#### 問合せ先:

(ウェブサイトの内容関係)

国土技術政策総合研究所 基準認証システム研究室 高見・平野 (029-864-4295)

(ウェブサイトの管理関係)

建築環境・省エネルギー機構 建築研究部長 生稲清久 (03-3222-6681 (代表))